

産業建設委員会記録

令和5年8月4日（金）
9時59分～11時19分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】笹田議長、西田議員

【執行部】

（産業経済部）佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、佐々木ふるさと寄附推進室長、
佐々木農林振興課長

（都市建設部）戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長、皆尾建設整備課長、
倉本維持管理課長、佐古建築住宅課長

（金城支所）邊金城支所長

（旭支所）西川旭支所長、官澤産業建設課長

（弥栄支所）馬場弥栄支所長、三浦産業建設課長

【事務局】大下書記

議題

1 執行部報告事項

- (1) 第3弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売状況について 【商工労働課】
- (2) 令和4年度ふるさと寄附のランキングについて 【ふるさと寄附推進室】
- (3) 令和5年7月9日の豪雨による被害状況について（農林関係） 【農林振興課】
- (4) 「石見旅ドライブ促進事業」の実施について 【建設企画課】
- (5) 周布橋整備事業について 【建設整備課】
- (6) 令和5年7月7日からの豪雨による被害状況について 【維持管理課】
- (7) 雇用促進住宅民間譲渡の進捗について 【建築住宅課】
- (8) 落雷による新開団地農業用取水ポンプの故障について 【金城支所産業建設課】
- (9) その他
（配布物）
・漁業別水揚げについて 【水産振興課】

2 その他

- (1) 議会広報広聴委員会からのお知らせ
- (2) 【要望書】一般県道黒沢安城浜田線改良促進に関する要望（委員会に配布）

3 【取組課題】浜田市の観光業・商工業の問題点と課題について（議員間で協議）

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[9 時 59 分 開議]

○川上委員長

ただいま出席委員は7名で定足数に達しているので、ただちに委員会を開催する。

1 執行部報告事項

(1) 第3弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売状況について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○商工労働課長

1次販売から4次販売までの販売状況については議員にもお知らせをさせてもらっていたかと思う。資料のとおり3次販売終了時点で364冊、観光協会特産品販売所だけが残ったため、7月14日に4次販売して、9時35分頃完売した。ただ、この4次販売時点で364冊という微妙な数字で残ってしまったため心配しており、事前にいろいろな相談をしながら対応した。

特産品販売所の入り口は7時から開くようにしていたが、5時くらいから紙だけ書いて順番取りしていた方がおり、その方に販売できないと伝えたところ少しトラブル等もあったと聞いている。買える見込みもないのに多くの方が並んでもと考え、来られた方には観光協会から、何冊買われるか予定も聞いて、364冊に達した以降の方にはお断りもしたが、実際には7時から多くの方が並ばれた。販売自体は9時から開始し、9時35分に完売した。予定を聞いた上で販売をしたが、その中でも予定でない方が1人買われることが生じてしまい、最後に買う予定の方が買えなかったトラブルもあった。その辺の対応について、事務局も実行委員会の会長と相談されて、事務局側が持っていたチケットを渡すことでクレーム対応をしたと聞いている。

そういったこともあったが、予定どおり10万3千冊を販売した。利用期間は9月末となっているので、現在換金処理を進めている。そちらの状況も分かれば議会に報告する。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○牛尾委員

今回の事業は市長の事業の中で最も市民に喜ばれた事業であるという評価を、多くの市民から聞いている。一方、最終日の364冊の販売方法については、結果論だが問題があったことは間違いないので、これを教訓として次をどうするか、中で固めてもらいたい。議員がつらいのは、市の政策は議員の連帯責任に思われること。議会が認めたことだからと。したがって集中砲火を浴びたのだが。9時から発売というのに、9時に並んでもう買えないとはどういうことかと。一般的に例えば人気のあるコンサートは皆早くから並ぶわけで、そういうことはあるのだが、行政がやるとそういうとこ

ろを責められるというか。行政の弱いところというか。そういうのがつらいと感じた。同じ轍を踏まないよう、どうしたら良いかは今回課題として捉えてもらい、しっかり検討してもらいたい。何度も言うが、議員も連帯責任としてターゲットになるので。お互い知恵を出さないと仕方ないと今回感じた。

○川上委員長

ほかになければ進行を交代する。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

完売後、購入できなかった方に事務局が持っているものを渡したとのことだが、完売したものが再度事務局から出てくるとはどういうことか。

○商工労働課長

あらかじめ10万3千冊以上を用意していたということではないので、事務局内で持っていた方が謝罪として渡されたのでは。

○川上委員長

事務局の方は購入されているので、購入したものをわざわざ出すとなるとお金の動きがどうなったかが、はっきり見えないのだがその点は大丈夫か。

○商工労働課長

お金の処理をどうされたかは、私もまだはっきり聞いてないが、持っておられる方は多分買われたのだろうが、それを買えなかった方を買ってもらうようなやり取りをしたと聞いている。お金の処理は事務局でされていると思う。

○川上委員長

非常に不明確で、転売した形になりかねない。その辺はもう少し精査されて、今後こういうことが起きないための手段を必ず取ってほしい。同時に、買われる方がここまでだと明確になるようにしてもらうことが必要と思うので、これだけはお願いしておく。転売についてはしっかり精査してほしい。できるだろうか。

○商工労働課長

その辺のやり方云々は協会も弁護士等に相談して対応されたと聞いているので、その辺が大丈夫かは改めて確認していきたい。

○川上委員長

機会を見て、どこかで説明してほしい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

この件については以上で終わる。

(2) 令和4年度ふるさと寄附のランキングについて

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○ふるさと寄附推進室長

8月1日に総務省から発表された令和4年度の調査結果によるふるさと納税ランキングである。中国地方では令和2年度、3年度と連続して第1位だったが、令和4年度は第2位という結果だった。全国の寄附金総額は約9654億円と、対前年度比で約1.2倍となっている。1788自治体中、当市は184位だった。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○串崎委員

頑張っているが少しずつ下がっている。上位の鳥取県は1位になっているし、京都と福井県がベスト10に入っている。何らかの方策を取っているのだろうがその内容が分かれば聞きたい。

○ふるさと寄附推進室長

中国5県でトップになった鳥取県米子市である。取組としてはポータルサイトを10か所に増やした。返礼品数も倍増し、中でも大山ハムがサイトランキング上位となったことでさらに人気を呼んで寄附額を伸ばされたと聞いている。

京都市は料亭のおせちや観光地ということで旅行クーポンなど京都ブランドを生かした返礼品を増やした。福井県はエビ・カニなどの水産物が人気だったと聞いている。

○串崎委員

参考になることは参考にしてほしい。気になるのが下の分析で、地方割合で中国地方は多分広島県が入っているのだろうが、広島にはいろいろ事務所もある。それを使いながらやっても良いのではと思うが、それについてはどうだろうか。

○ふるさと寄附推進室長

地方別分析では例年どおり半数が関東地方、その半数が東京都からが多くなっている。そして、広島からの寄附もある。隣接しているので浜田市へぜひお越しいただき、レジャー等も楽しんでいただけるようなプランもやっていきたいと思っているので、広島事務所とも連携して取り組んでいきたい。

○川上委員長

ほかにはないか。それでは私から。先日、広報はまだに昨年度のふるさと寄附の総額が載っていた。約12億円である。この12億円を使うとなると相当な金額だが、なぜいろいろな施策が前に進まないのかと市民に問われたので、私は説明したのだが、12億円のうち約5億円は返礼品や事務費等だから、実際まともに残るのは6、7億円くらいだと思う。実情半分くらいだと説明した。せっかく広報はまだに出すならその点も明確にしてもらいたい。そうでないと市民は、まるまる寄附金だと思っているので。その点については今後どういう形で進めるか。

○ふるさと寄附推進室長

今後は積立金額についても分かりやすく皆に周知できるよう掲載していきたい。特設サイトには詳細を載せているが、分かりにくいこともあると思うので周知していき

たい。寄附金額から実際に活用できる金額についても広報はまさに明示し、分かりやすく表示したい。

○川上委員長

せっかくなので次の広報はまたで説明していただくと大変うれしい。よろしく願います。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

ほかはないようなので次へ進む。

(3) 令和5年7月9日の豪雨による被害状況について（農林関係）

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

（ 「なし」という声あり ）

委員から質疑はあるか。

（ 「なし」という声あり ）

(4) 「石見旅ドライブ促進事業」の実施について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○建設企画課長

7月7日の報道発表の同日に議員にも配信させてもらったが、改めてポイントだけ説明する。

この事業についてはネクスコ西日本から販売された「石見旅ドライブパス」ということで、7月7月に報道発表があった。このドライブパス実施に併せ、島根県西部高速道路利用促進協議会として石見地域クーポンとして、9月から3か月間、限定700件進呈することとし、広島方面から高速道路を利用したさらなる誘客に取り組むこととしている。石見旅ドライブパスの概要については、広島から石見地域への高速道路の通行料金がお得になる1泊2日の周遊パスである。普通車の場合3,900円で石見地域内周遊の際は乗り放題となる。

2番の石見旅ドライブ促進事業の概要だが、石見旅ドライブパスの実施機関のうち9月から11月までの、石見の神楽在月の間の利用者に石見地域クーポン2千円分を先着700件進呈する。石見地域の約50施設でお土産などの割引が受けられるということでお得感を出している。秋の3か月間ということ、広島方面からの誘客に取り組むこととしている。

なお地域クーポンの進呈に当たっては利用者にアンケートをしてもらい、その結果を集計・分析し、今後の高速道路を利用した誘客の取組につなげる。事業予算については島根県西部高速道路利用促進協議会の予算220万円で実施する。このうち島根県

から補助金を100万円いただき、浜田地区広域行政組合等からの負担金で100万円をい
ただいて実施する。この取組は今後の高速道路の整備促進あるいは石見地域の活性化
に向けた取組として進めているので、各市町あるいは島根県、各観光担当課と連携し
てPRしていく。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 周布橋整備事業について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○建設整備課長

周布橋の詳細設計が完了し、橋梁の構造や工法などが決まったので、整備スケジ
ュールおよび事業費、整備計画について報告する。まず整備スケジュールについては橋
梁の上部桁の製作に8か月程度の期間を要するために上部工の工期が延び、供用開始
が令和7年3月末から令和7年12月末となる。理由としては上部鋼の形式は鉄製の桁な
のだが、その上にコンクリート床板を設置する合成版型橋であり、その工事期間を精
査するため鋼製桁の製作工場に確認したところ、コロナウイルスの影響によって鋼材
の調達だけで4か月程度掛かると聞いた。コロナ禍では調達に6か月掛かったときもあ
ったそうで、そのときよりは改善しているそうだが、今後も4か月は必要とのことだ
った。そのため鋼材調達期間を含めて桁の製作に8か月程度の期間を要し、さらに運
搬や施工考慮をすると出水期までに計画していた工程をこなすのが困難となり、供用
開始が遅れることになった。特に周布地区の住民には不便をお掛けし大変申し訳ない
が、今後各工事の請負業者と施工計画などをしっかり練り、工期が少しでも短縮でき
るよう努力する。

また、事業費については詳細設計に基づき工事費を精査した結果、約2億8千万円の
増額となり、総事業費が約14億8千万円となる。増額の主な内容については詳細設計
により当初より上部鋼の桁高が高くなり数量が増えたことや、河川内の施工スペース
確保のため当初簡易な仮設材による仮橋を設置予定だったが、施工実態に合うよう大
型重機に対応できる工事用仮橋に変更したことなどが主な内容となる。

事業費増額分の内訳については、工事費が約2億5千万円の増、またNTTや中国電
力の電柱移転や事務費増により約3千万円の増となり、合計約2億8千万円の増額とな
る。資料の財源内訳表の右側、差額欄を見てほしい。

(以下、資料を基に説明)

○川上委員長

委員から質疑はあるか。なければ進行を交代してほしい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

私から2点。現在2億8千万円の増額とのことだが、2024年問題および最低賃金の改定等々により、労務賃金等も変わってくると思う。その点も配慮して2億8千万円なのか、それとも現時点で2億8千万円なのか。

○建設整備課長

2億8千万円の増額の中には、資材高騰分や人件費高騰分も加味して積み上げている。

○川上委員長

ということは、現時点では最終的に増額変更はないと取ってもよろしいか。

○建設整備課長

この中で極力収める形でやっていきたい。

○川上委員長

極力は分かったが、無理のないようにしてほしい。特に川の中なので無理してやるとろくなことはない。要るものは要る。増があっても致し方ない部分があると思うので、それについてはしっかり精査の上でやっていただければ。

(6) 令和5年7月7日からの豪雨による被害状況について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○維持管理課長

被害状況は資料のとおりである。本災の査定は現在9月中旬頃の予定で調整している。当初予算は5千万円あり、現段階では補正は予定してないが、今後の査定結果や台風シーズンの被災状況によっては必要に応じて補正を提案させていただきたいと考えているので、よろしく願います。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○串崎委員

業務委託費400万円とある。先ほどは2,100万円で委託費500万円という資料があった。この事務委託費とはどのような内容なのか。

○維持管理課長

測量設計の業務委託費だが、河川災害と道路災害がある。河川災害の設計業務委託というのは少し予算も掛かる内容になるので、400万円を予定している。

○串崎委員

先ほどの2,100万円の工事費で500万円の予算がついていた。今回は4,500万円で400万円の事務委託費。何かルールがあるのではと感じるのだが、漠然としてよく分からない。その点はどうか。

○維持管理課長

測量設計に出す400万円だが、災害査定を受検するために測量設計を出すので、いわば本災2,800万円に対して400万円程度必要という感じで計上している。

農林については本災分のみが被災している状況なので、2,100万円に対して500万円程度の測量設計業務委託を見込んでいます。

この測量設計業務委託費も積算基準があり、私は農林のほうははっきり知らないが、公共はそういった積算基準に準じて委託費を決定している。

○川上委員長

ほかはないか。

(「なし」という声あり)

(7) 雇用促進住宅民間譲渡の進捗について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○建築住宅課長

この雇用促進住宅においてはこれまで説明しているとおり、来年度からの民営化ということで現在準備を進めている。このたび売却に係る入札を実施し、落札者が決定した。現在落札相手方とは仮契約を結んでいるところだが、議会での承認を得た上で本契約が成立となるので、9月定例会議にて住宅条例の廃止を含めて議案を上程する予定としているので、よろしく願います。

資料の内容は、入札の実施概要やスケジュールを載せている。

(以下、資料を基に説明)

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○布施委員

令和2年に前指定管理者からの問題があつて、陳情も出て非常に難しかったと思う。直営化後は運営方法についても陳情が出た。この2年間よくやられたと思う。最低売却価格が倍以上。建物をそのままの状態と解体した場合の費用、これをある程度やるとどうなのかなという部分があるが、売却価格はそのままにしてやるのは非常に良かった。

これからの予算の中で、9月定例会議に上程されるが、現況のまま締結するときには修繕といったものを含めるようなことは何か予定があるか。

○建築住宅課長

以前説明しているが、当時検討委員会を立ち上げて検討していく中で附帯意見として、今住まわれている住戸内の小修繕をしてもらいたいということで、今年度ある予算の中で対応させてもらっている。一応そういった対応をして取りあえず引き渡す状況にはなっている。

○布施委員

入居者の状況も61.9%なのだが、賃金は現況のままで契約されるのか。

○建築住宅課長

家賃のことだろうか。これも最低条件ということで10年間家賃は据置きということ

を前提に受けてもらっている。必ず10年間は担保していただく。

○沖田委員

確か令和3年に前の管理者から浜田市直営になったが、そのときに住まわれている住民から、管理者が数年でころころ代わるのは負担が大きいといった意見がかなり寄せられたように記憶している。恐らく住まわれる方には大きな入れ替わりがないのだろうから、またかという印象を受けられたと思う。その中で今回また管理者が代わるが、前回の意見を踏まえ、手続きをある程度簡略化するとか、何らかの配慮をすべきではないかと思っているが、担当課としてどのように考えるか。

○建築住宅課長

去年の秋口にこの譲渡を含めて改めて4団地に説明させていただき、来年度から新しいオーナーになるとも説明させてもらっている。その中で、自治会としての意見を取り入れてほしいとしっかり言われたので、その部分の時間はしっかり取っていきたいと思っている。議会承認をいただいた後はしっかり、団地ごとに自治会を組まれているので、自治会長なりに話を伺いながら、新しいオーナーに理解してもらった上で引き継いでいただけるよう進めていこうと思っている。

○沖田委員

自治会といったもの以外に、要するにまた管理者が代わるということは、申請書や口座振替手続きといったものが、例えば高齢の方は浜田市役所まで来るだけでも結構大変だったりする。それが数年単位でころころ変わるのは困るということを多分言われたと思っている。そこはどうか配慮するかということ。

○建築住宅課長

そこはおっしゃるとおり、手をあまり掛けない形でどうにか書類引き継ぎはさせていただこうと思っている。負担を掛けない前提でしっかり取り掛かりたい。

○川上委員長

ほかはないか。なければ進行を交代する。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

先ほど布施委員からもあったように家賃の担保、入居期間の担保について、次回上程される際にしっかり説明いただきたいし、どこかで文書を出してほしい。それだけ約束してほしいのだが。

○建築住宅課長

重要な部分なので、受けてもらう条件はしっかり説明させていただこうと思っている。よろしく願います。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

ではこの件を終わる。

(8) 落雷による新開団地農業用取水ポンプの故障について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○金城支所長

資料2の農業用水確保のための緊急対応だが、仮設水道管を昨日8月3日から敷設して農業用水の供給を行うことにしていたが、工事着手のための手続等に時間を要しており、現時点では引き続き散水車による貯水タンクへの給水を継続している。仮設水道管への切替えは来週中には行いたいと考えている。また、(1)の散水車、河川から取得と記載しているが、当初は河川からの予定ではあったが、地元水利組合にお願いして農業用水からの取得をしている。

最後に3番の予算については、当面流用や予備費での対応と書いているが、予算不足が見込まれるときにはまた補正予算をお願いすることになると思うので、その際はよろしく願います。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○串崎委員

水中ポンプというのはどのくらいの値段か。これは一応年末まで緊急対応とのことで、現在準備を行っているようだが、新しい水中ポンプはいつ頃になるのか。

○金城支所長

これは今年度の当初予算で水中ポンプの老朽化に伴い、予算計上させてもらっている。ざっくりで言うと1千万円を超える金額になると聞いている。

一応更新は年末にしていたが、受注生産であり4か月くらい掛かると。ちょうど今月に入札が終わったので、それから4か月としても12月。ということで年末と書かせてもらっている。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

(9) その他

○川上委員長

執行部から何かあるか。

○旭支所産業建設課長

地域おこし協力隊委嘱について報告したい。農村RMO事業の支援業務に伴って8月1日から地域おこし協力隊を委嘱した。

(以下、資料を基に説明)

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○沖田委員

地域おこし協力隊の方の協力を得て地域活性化を図るとのことだが、書いてあることが結構すごいことだと思う。素朴に、よそから人がぽんときて3年でできるのだろうか。来てなじむまでも時間がかかるだろうが、クラウドシステムの実証の検証とか。3年でできるのか。この方は単発3年間の雇用という形で呼ぶのか、そうではなく取りあえず3年来てもらって、その後も何とか残ってもらいたい考えで呼ぶのか。

○旭支所産業建設課長

3年間の考え方になろうかと思うが、基本はこの事業形態も3年ということなので、この3年と考えている。引き続き我々も、彼が移住されるよう一緒になって取り組んでいきたいと考えているので、事業もそうだし住まいもそうだが、地域の方にもすごく協力してもらっている。一緒に取り組んでいきたいスタンスではいる。

○牛尾委員

彼は不動産業を長くやっておられるということで。旭町に移住されるのは一人か。例えば家族が一緒に来られるのか、どのようになっているか。

○旭支所産業建設課長

彼は夫婦で岡山にいらしたが、まず彼だけ移住される状況である。今後の話によっては奥様と一緒に住まうことも考えていると伺っている。

○牛尾委員

田舎へ単身赴任でやってきて、今までやったことないような事業をやるというのはなかなか。資料を読んだ限りでは、できっこないという印象を持った。3年間この制度を使って単身赴任で稼いでくるからなとってお見えになる方が多いが、そういう関係なのかという見かけがする。不動産業を35年やってこられた中で一定のノウハウをお持ちになっていて、その辺のマッチングがこの事業内容にはまったのだろうと推測するのだが、そういう事前マッチングはどのようにして、彼をここに招くに至ったのか。

○旭支所産業建設課長

事前マッチングだが、資料(2)に地域資源の活用ということで掲載している。ちょうど和田まちづくり推進委員会も空き家活用について実際にアンケートを取ったりして進めておられる。そういったスキルを持っておられる方の訪問があったこともあり採用に至った。

○牛尾委員

まだ見えてこないのだが要するに不動産業をやっておられたから空き家の有効活用には一定のノウハウをお持ちではないかということか。

○旭支所産業建設課長

そのように思っている。

○川上委員長

ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

その他としてほかにあるか。

○弥栄支所産業建設課長

私からも地域おこし協力隊の委嘱について報告したい。資料を見てほしい。

(以下、資料を基に説明)

○川上委員長

委員から質疑はあるか。進行を交代したい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

この方には確かにこうしておいでいただくことになった。弥栄は安城地区と杵束地区と二つに分かれているが、どちらに住まいを持たれ、今後活動されるのか。

○弥栄支所産業建設課長

住まいについては杵束地区の民間賃貸で住宅に決定されている。

○川上委員長

杵束地区にも若い方がたくさんおられるので、一緒になってやっていただければと思う。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

執行部から他に何かあるか。

(「なし」という声あり)

配布物が一つある。漁業別水揚げについての資料を配布しているので確認してほしい。以上で執行部からの報告事項が終わった。8月17日の全員協議会へ提出して説明すべきものを決定したい。執行部の意向を確認したい。

○商工労働課長

全員協議会へ報告したいのは、(5)の1件である。

○川上委員長

執行部の意向が示されたが、委員はどうだろうか。

(「異議なし」という声あり)

ではよろしく願います。議題2に入る前に、委員から質疑があったようだが。

○牛尾委員

ふるさと体験村の営業再開に関連して資料が載っているのだが、5月8日現在の延べ数という利用状況である。既に8月に入っており、データがあまりに古いので的を射てない資料だと思う。少なくとも7月末で実数くらい出ると思うので、出すとすれば7月末までがこうで、8月はこうというくらいの資料を出してもらわないと。

○川上委員長

牛尾委員、待ってほしい。ふるさと体験村の資料は入れてないそうだが。

○牛尾委員

現在の状況を教えてほしい。

○弥栄支所産業建設課長

今は正確な資料を持ち合わせてないので、また改めて報告をさせていただこうと思う。よろしいだろうか。

○牛尾委員

皆結構心配しておられるので、7月末の利用状況や8月末の予約状況など、調べてから報告するというようではいけないのでは。他人事みたいだ。ふるさと体験村は頑張ってもらわないといけないし応援もしているが、現場がそういうことではいけないのでは。この先のことを憂慮する。そのような責任のない答弁では。分からないなら良い。どこかの時点で示してほしい。委員長にもお願いします。

○川上委員長

現時点で説明ができるものがあるか。ないようなら8月17日に改めて説明いただくようお願いする。

○弥栄支所産業建設課長

直近のことを説明させていただきたい。かなり苦戦しているのは確かで、また8月からメニュー等も変更したりいろいろ手は打っているが、そのあたりも含めてまた報告させていただきたい。

○川上委員長

直近だと8月17日の全員協議会だが、そこで報告されるか。それとも9月の委員会で報告するか。私としては見直したものをもう一度報告いただくことに関しては、9月の最初の委員会で説明いただくのが一番良いかと思うが。9月にお願いしてもよろしいか。支所長はそれで良いか。

(「はい」という声あり)

委員はそれで良いか。

(「はい」という声あり)

では9月の最初の委員会で、ふるさと体験村については状況報告をお願いする。

2 その他

(1) 議会広報広聴委員会からのお知らせ

○川上委員長

皆の手元にははまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）の周知方法の報告とお願いという文書があるように、周知方法については委員の手元にチラシ30枚、ポスター3部ある。昨年も同様にしてもらったが、ポスターは資料の一覧にあるところ以外へ、ぜひ貼ってもらって周知されるように。また、そこに10枚程度のチラシも同時に置かせてもらって周知いただくよう。また市民にもご協力いただくようお願いしたい。議員への依頼事項については書いてあるとおりで。よろしくをお願いします。

(2) 【要望書】一般県道黒沢安城浜田線改良促進に関する要望

○川上委員長

事前に資料を配付しているため、内容は確認されているものと理解している。これについて執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようである。ここで執行部は退席されて構わない。暫時休憩とする。

(執行部退席)

[11時 02分 休憩]

[11時 15分 再開]

○川上委員長

委員会を再開する。

3 【取組課題】浜田市の観光業・商工業の問題点と課題について

○川上委員長

6月23日と7月18日に、観光業者と商工関係者との意見交換を行い、まとめは作った。このまとめを活用して9月定例会議での委員会代表質問を作成してもらいたい。担当は布施委員にお願いしている。各委員におかれては、この代表質問に加えてほしいもの、ぜひ上げてほしいものがあるか。

○牛尾委員

8月22日に会議所から要望が出るのだが、中身についてはプレミアム商品券を、率を下げてでも良いから年に1回程度やってほしいというものである。したがって併せて今回の反省も含めて、総合的に質問してもらえたらと思っているので、よろしく願います。

○川上委員長

ほかにはないか。

(「なし」という声あり)

では先ほど布施委員が申し上げたように、質問をまず作って皆に紹介する。その時点でここについてもう少しといったことがあれば、ぜひお願いしたい。以上でこの議題3については終わる。

ここで私からも一言だけお願いしておく。これまで農林水産業、今回は観光・商工業という形で、市内におけるもろもろについて意見聴取して、なおかつ委員会代表質問を行った、また行うわけだが、当メンバーにおいては多分これが最後になってくると思う。したがってせっかくなので、この委員会が終わるまでというか、改選になるまでに、これまでの問題の総括をしておきたいと思っている。代表質問をすることで提言に代わるという話があったが、やはりせっかくなので総括して執行部に投げ掛けておきたいと考えている。意見・要望、どうなるか分からないがまとめて作りたいと思っているがどうだろうか。よろしければ私と副委員長にまずは荷を預けていただ

きたいと思うがよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそういうことで、今回の委員会代表質問が終わったら私または副委員長とで案を作る。それを見てもらい、また皆と意見調整したいと思う。よろしく願います。

以上で全ての議題が終了した。最後に次回委員会の日程についてだが、9月1日金曜日、9月定例会議初日、ここでは所管事務調査の決定を行いたい。それまでに所管事務調査等々が必要なものについては把握の上で出席してほしい。9月14日木曜日、議案審査となっているので、これについてもよろしく願います。

以上で産業建設委員会を終了する。

[11時 19 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川 上 幾 雄